



かたしな



第21回ふれあいバザールin片品（7月7日、花の谷公園）

主な内容

第4回臨時会	2～3
第5回定例会（6月議会）	4～7
委員会の先進地視察研修	8～9
第3・6・7回臨時会、村民の声、議会活動	10～12

議会構成変わる！

5月16日開催の第4回臨時会では、新議長に飯塚美明議員、副議長に戸丸廣安議員が選出され、各常任委員会の委員長・副委員長そして委員が選出されました。また議員報酬の一割削減の一年継続を決めました。そして工事請負契約が全員賛成で採択されました。



(飯塚 美明 議長)

=就任のあいさつ=

このたび片品村議会議長に就任致しました。立派な功績を残されました歴代議長さんの後を受け、その責任の重大さを痛感しています。

地方分権改革（地域のことは地域で決める）の推進に伴い議会の果たす役割が益々重要となっています。

今、片品村を取り巻く環境は大きな変革期を迎え、小学校の統合等長年の懸案も動き出しました。

これからの時代にふさわしい魅力と活力のある村づくりを進めるため、執行機関と住民を代表する議会が力を合わせ取り組むべく、議長として一層の努力をしております。

村民の皆様のご指導を引き続きよろしくお願い致します。



(戸丸 廣安 副議長)

=就任のあいさつ=

副議長就任は、身に余る光栄です。議長の補佐役として粉骨砕身努力するのみです。

片品村のような県境・山間地域における課題は多くあり、待ったなしの状況です。その克服のため、議員の役割は多方面に拡大していると認識させられる昨今です。

具体的には、村の第3次総合計画後期基本計画の確実な実現と、さらなる村づくりならびに住民福祉の向上にまい進してまいりますので、どうか村民の皆様、引き続きのご指導・ご協力をお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

第4回臨時会 (平成25年5月16日)

議員報酬の特例に関する条例

- ・本条例（期限を定めて議員報酬を一割削減する内容）の期間が満了となったため、平成25年5月1日から平成26年4月30日までの一年間延長するもの。

【全員賛成】

工事請負契約

- 武尊休養施設管理棟改修工事
 - ・契約金額 66,150,000円
 - ・増田・星野武尊休養施設管理棟改修工事特定建設工事共同企業体
- 村道3179号線（武尊牧場管理道）道路改良工事1工区
 - ・契約金額 55,860,000円
 - ・(株)石倉組
- 村道3179号線（武尊牧場管理道）道路改良工事3工区
 - ・契約金額 66,150,000円
 - ・角田建設工業(株)
- 武尊牧場クロスカントリーコース競技本部周辺整備工事
 - ・契約金額 63,840,000円
 - ・今井工業(株)

【全員賛成】

総務文教常任委員会



◎千明道太、○梅澤志洋、笠原耕作、星野千里、戸丸廣安、星野逸雄、星野栄二

＝就任のあいさつ＝

残暑厳しいおり、村民皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

5月の臨時会におきまして、委員各位のご推挙をいただきまして総務文教常任委員長に就任致しました。

村を取り巻く環境は、依然として厳しさが続いています。所管事項に一層精励し議員職務全うに努めてまいります。

今後とも、村民の皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます、就任のあいさつと致します。

(千明 道太委員長)

議会運営委員会



◎星野育雄、○星野栄二、千明道太、今井 功、梅澤志洋、星野精一、飯塚美明、戸丸廣安

＝就任のあいさつ＝

5月の臨時会におきまして、委員各位のご推挙をいただきまして議会運営委員長に就任致しました。

議会運営委員会は議会を円滑に、しかも効率的に運営するための委員会です。

住み良い村づくりを実現するために、各委員及び執行部の意見を良く聞き、議会と行政が両輪となり、住民福祉向上に寄与するよう努力致します。どうぞよろしくお願い致します。

(星野 育雄委員長)

議会広報編集特別委員会



◎戸丸廣安、○星野精一、飯塚美明、星野千里、笠原耕作、今井 功、星野栄二

＝就任のあいさつ＝

この一年「議会だより」を担当する委員7名です。よろしくお願い致します。

役目は、読みやすい「議会だより」づくりつまり編集業務と、村政や議会活動などを分かり易く伝える広報業務です。

本委員会は、こうした活動のために、村民とのさらなる交流に努めますので、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

(戸丸 廣安委員長)

観光産業常任委員会



◎今井 功、○星野精一、入澤登喜夫、星 長命、星野育雄、高橋正治、飯塚 美明

＝就任のあいさつ＝

5月の臨時会におきまして、委員各位のご推挙をいただきまして観光産業常任委員長に就任致しました。

観光と農業を活性化するため、道路・橋梁整備、施設園芸振興、鳥獣害防護柵の全村設置、生産～加工～販売までする6次産業化推進、都市との交流強化、金精道路の年間通行などに取り組みますので、村民の皆様のご指導・ご協力をお願い申し上げます。(今井 功委員長)

平成25年度6月補正

(単位：千円)

一般会計(第1号)	歳入歳出	補正額	補正後
	3,920,000	139,500	4,059,500

主な一般会計補正

歳入 (単位：千円)

地方交付税	93,097
県補助金	
千客万来補助金	1,280
緊急雇用補助金	5,103
村債	
過疎対策事業債 (小中学校改修設計)	18,000
災害事業債	21,000



片品診療所屋根塗装工事

歳出 (単位：千円)

総務費	
庁舎エレベーター設置	18,000
ネット販売システム構築等委託費	3,000
民生費	
片品診療所屋根外装塗装費	9,000
片品保育所 "	18,900
衛生費	
風疹予防接種事業	2,987
労働費	
マップづくり事業・体験学習旅行PR事業 (群馬県緊急雇用創出事業の補助金を活用)	5,103
商工費	
尾瀬等4ヶ国語の広域マップ作成事業 (群馬県千客万来支援事業の補助金を活用)	2,697
土木費	
越本・花咲線斜面崩落修繕費	9,000
小学校費	
片小改修工事に係る設計費	18,000
北小改修工事費	7,000
災害復旧費	
岩鞍地区土木施設災害	21,000
諸支出	
公営企業補助金	3,400

平成25年第5回定例会(6月議会)を6月6日から6月13日までの8日間にわたり開催しました。
 「一般会計補正予算(第1号)」「特別会計補正予算(第1号)」「工事請負契約の締結」「繰越明許費繰越計算書」「人権擁護委員の推薦」が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

(単位：千円)

観光施設事業特別会計(第1号)	補正前	補正額	補正後
収益的収入	103,110	3,400	106,510
収益的支出	102,791	3,671	106,462
資本的収入	20,000	195,000	215,000
資本的支出	65,000	195,000	260,000

工事請負契約

- 村道戸倉・富士見下線斜面崩壊対策工事
- ・契約金額 57,750,000円
- ・鈴木特殊土木(株)

【全員賛成】

(単位：千円)

- ◆収益的収入・支出の主なもの
 - 国有林野関係申請書作成業務委託 3,035
- ◆資本的収入
 - 企業債借入金 97,500
 - 過疎債借入金 97,500
- ◆資本的支出
 - スノーパル・オグナほたかスキー場
リフト架設費 195,000

平成25年度一般会計補正予算(第1号)について、こんな質疑がありました。

問 小学校設計委託料その他が増額され、今後大きな事業が控えておりますが、村長は今後、この様な事業を引き続き実施していくのか？

答(村長)

財政の立て直し、財政の健全化に努めてきました。多くの事業を確実に実現していかないとならないし、今後も行財政改革を進めながら村政運営に取り組んでいきたい。

問 スノーパル・オグナほかかスキー場の第3クワッドリフトの修理が可能か否か、メーカーとの折衝状況は？撤去費用が多額になることから、現状のまま置くというのは、集客面でマイナスになると思うが？

答(むらづくり観光課長)

現時点では、安全上

ないと聞いている。今後については、撤去・返地に向け、様々な検討をしていきたい。

問 第3クワッドリフトの老朽化のため、運行不能の前提のもと、新リフトの架け替えの取り組みであると聞いているが、確認してきたい。

答(村長)

担当課長の説明のとおり、同様に考えております。

問 リフト建設費1億9,500万円は、多大な額であります。今後、費用削減を図るよう、最大限の努力をされたい。

答(むらづくり観光課長)

議会請願の一部採択という趣旨を十分に踏まえて対応していきたい。

【採決】

平成25年度一般会計補正予算第1号は、「全員賛成」で可決しました。

平成25年度片品観光施設事業特別会計補正予算(第1号)について、こんな討論がありました。

反対 **【発言者・笠原耕作】**

村内民間スキー場5社のオーナー名により意見書が提出されており、公営・民営を問わず、公正な競争環境を考えていただきたいということとであります。今回の設備投資について、検討する期間が必要であります。本案については、反対を致します。

賛成 **【発言者・星野栄二】**

厳しい財政状況の中、極力費用軽減を図った今回の第5案での架け替え対策であります。スキー場が営業不能ということになり、宿泊施設や冬季雇用、武尊地域の観光振興全般に多大な影響を与えます。ベストではないが、ベターな選択であると思ひ、賛成を致します。

【採決】

【起立した賛成者】

星野栄二、星野精一、今井 功、戸丸廣安、星野千里、高橋正治、星野育雄、星 長命以上、8名。

【反対者】

梅澤志洋、千明道太、星野逸雄、笠原耕作、入澤登喜夫。以上、5名。

従って、起立多数で、原案のとおり可決しました。



クワッドリフト乗り口



オグナほかスキー場のクワッドリフト

審査しました

各委員会を開催

総務文教常任委員会

協議事項

一、予算について

問 補正予算で賃金という欄が、各課で出ているが、臨時職員は実質何人か。

答 (総務課長)

衛生費1人、農林水産費1人、教育費1人、国体準備費2人の合計5人とプラス労働費(2人×2事業) 4人です。

問 子宮頸がんワクチンの接種予定は

答 (保健福祉課長)

片中1年生18名を予定している。

問 庁内エレベーターの完成予定は。

答 (総務課長)

片品村総合産業文化展前に完成したい。

問 県内の2階建庁舎で庁内エレベーターをつけている自治体はあるのか

答 (総務課長)

調べてはいません。

問 庁内エレベーターは何人乗りか。

答 (総務課長)

設計は11人乗りで、大

きさは1・44m×1・35mです。車椅子と補助者がつける大きさです。

問 使用頻度は。

答 (総務課長)

文化展や婦人会・食改推・生活研究グループなど料理の材料を運ぶときにも使えます。

〔小学校改修〕

問 小中学校改修工事についての順位。

答 (教育長)

小学校を中学校より先行します。

問 設計の進行について。

答 (教育長)

間取りについては決まっているが、具体的なものについては、実施設計の中で決めたい。構造に関しては鉄筋コンクリート造り2階建(一部3階建)で、内装は可能な限り木造、和風に仕上げたい。

問 設計の工期は。

答 (教育長)

工期8カ月ぐらい。工事については、平成26・27年の二カ年を予定。

問 片品小学校・片品北小学校の統合による児童輸送について。

答 (教育長)

マイクロバス5台・ジャンボタクシー1台の6台で対応したい。

二、その他

〔教育委員会報告〕

(教育長)

① 学校統合及び学校改修の現況について

・新「片品小学校」の建設規模は、34251ぐらい

・片品中学校の改修については、どのように改修するかを中学校と協議中。予定では、平成28・29年の2年間をかけて改修したい。現在の片品北小学校には特別支援学級に対応する部屋等がないので、夏休み中に工事をしたい。

・四小学校統合に向けた具体的な細かい作業を、各小中学校の教頭先生による「管内教頭会」で進めている。

・片小、北小の統合に伴う児童・生徒の輸送については、村内の運輸

業者による送迎を想定し、協議原案を作成中。

② スキー大会について

・クロスカントリーコース整備は6工事を発注し、アルペンコースの会場準備については、戸倉スキー場ならびに岩鞍スキー場と協議中。

・競技役員編成については、主要競技役員は村内者を中心に人選が済んでいる。それ以外については、群馬県スキー連盟並びに中体連に依頼して編成中。

・国体スキー競技については、平成27年2月20日から23日までの4日間で開催。



片品北小学校

委員が慎重に

6月議会中の6月10日に

観光産業常任委員会

協議事項

一、予算について

問 企業誘致のために、用地を確保する考えはあるのか。

答 (村長)

そういうことも考えていかなければならないと思う。

問 わが村の農業をさらに活性化させるために行政が力を注ぐべきだ。

答 (村長)

様々な分野から人材を集めた委員会を立ち上げ、さらなる農業の活性化に取り組んでいく。

問 都市部自治体直営の特別養護施設の誘致をするべきではないか。

答 (村長)

関わりのある自治体の首長に働きかけをしたい。

問 村営住宅の耐震診断の結果はどうなっているのか。

答 (農林建設課長)

耐震性は比較的高いの

で緊急な対処は必要ないと認識しているが、30年以上経過しているので建て替えの時期は来ていると思う。

提案

・農業の6次産業化に力を入れてほしい。

・新しく建てる小学校には、村内の木材をたくさん使って地元雇用を生み出してほしい。

・Iターンの受け皿のために、就農者用村営住宅がこれからは必要ではないか。



武尊根小学校の校舎



桜花苑



村営住宅

総務文教常任委員会先進地視察

■視察の期日

平成25年7月11日

■視察の場所

甘楽郡下仁田町の教育委員会、下仁田小学校

■視察の目的

- ・管内小学校の統合に向けた作業の参考にするため
- ・片品小学校改築工事の参考にするため

■視察の結果

【下仁田小学校】

校舎は、昭和47年に建設され、老朽化に加え現在の耐震基準値を満たしていない建築物であるとの指摘から、大規模改造や耐震補強が必要とされた。

こうした状況に危機感を持ち、平成19年10月に「小学校整備事業対策協議会」をスタートさせ、保護者や地域住民から広く意見を聴取した。少子化による児童数

の減少もあり、平成24年4月1日、5小学校を廃止して統合小学校を設置するために建設された。

第一期工事鉄筋コンクリート3階建、第二期工事木造2階建て校舎は、教育環境に配慮して地元木材をふんだんに使用しており、暖かみのある質感と空間が実感できた。

細かいところまで気配りがされていた。サツシなどは、木造サツシ2重ガラス、手を挟んでもケガをしないようゴム枠があり、防音・保温にも活かされていた。

木造校舎の柱や梁には集成材が使われており、強度も強く耐久性にも優れていた。木造校舎の外壁は、メンテナンス費用の関係から木材の使用は少なかった。太陽光発電パネルが設

置してあり、環境負荷の少ない施設管理に努めるよう配慮されていた。児童数261名中、120名ぐらいが通学には7系統ある、スクールバスを利用している。

統合に向けた取り組みの中で、一、二年前から各小学校間の交流事業を多く行い、児童の交流を深め、統合時に早くなじめるよう工夫していた。

統合後の小学校には、各小学校から先生に来てもらい、児童が不安にならないよう配慮していた。

片品村においても、児童ならびに保護者が安心・安全に学校に通えるよう、さまざまな意見を取り入れて検討をしていくことが必要だと感じた。

(千明道太委員長 記)



木造で開放感たっぷりの下仁田小学校校舎内部



下仁田教育委員会や下仁田議会との交流会



下仁田小学校の内部2



区長との懇談会

■議員と区長との懇談会

5月31日(金)午後3時から、役場2階農林研修室において開催されました。

各区長からは、それぞれの区で抱える課題や意見などを出していただくなど、活発な懇談が行われました。主な意見は、次のとおりでした。

- 小学校が統合した後跡地利用についてみんなで考えよう。
- スノーパル・オグナほかかのクワッドリフトの架け替えについて聞きたい。
- 新小学校の建設は百年単位の計画になるので慎重に進めてほしい。
- 村が元気になるように専門の特別委員会を設置してほしい。

観光産業常任委員会先進地視察

■視察の期日

平成25年7月11日

■視察の場所

①甘楽郡下仁田町の教育委員会、下仁田小学校

②多野郡上野村役場、村営のしいたけ生産工場、木質ペレット燃料製造工場

■視察の目的

先進地としての上野村の6次産業視察、片品村の6次産業化への参考とするため

■視察の結果

私たちは、観光産業の観点からいくつかの質問を行いました。

木造二階建て校舎は全て町所有でまかない、また地元業者が共同企業体を組み、施工したそうです。

木材の伐採から建築までの工程が生み出す雇用、それに伴う経済効果は非常に大きく、これら建てる片品小学校にもこの視点は不可欠であると実感しました。また地元の木で地元

の業者が建てるという事は町民すべての校舎に対する誇りや愛着を生み、この効果こそ計り知れないのではないのでしょうか。

午後は、上野村でした。そこで、地理を含めて様々な不利な条件を政治が克服しながら村を前進させていると感じました。

過疎対策の成果ともいべき人口の17%を占めるのが1ターナー者行政は、移住者を一か所に集中させず、地域のバランスを考え、分散して整備した村営住宅。移住者を定住者とするべく受け皿である雇用産業の政治主導による創出も注目される場所でした。

上野村は、財源の50%弱を固定資産税が占めるといふ恵まれた財政運営ではありますが、そこにあぐらをかくことなく、将来を見据え、様々な政策を打ち出して、同行された行政者

と、問題を共有できたのも大きな成果でした。

上野村役場で、神田村長の村づくり説明を受けたあと、村営のしいたけ生産工場と木質ペレット燃料製造工場を青木議長の同行の下、視察しました。広大なしいたけ工場は、ここ一、二年、順調に推移すれば、民間へ経営移譲することとした。また、ペレット工場は、しっかりと設備投資がなされているようであり、ペレット燃料の製造が本格化しそうな感触を得ました。

上野村営しいたけ生産工場



上野村長との懇談



木質ペレット燃料製造工場での説明



木質ペレット

なお、村としては、工場誘致は無理だということの方が分かっていて、村営による起業しかないという基本的な考え方の下に、今後上野村を強固にしていくとの方針を村長が強調していました。(今井 功委員長 記)

■スキー場経営者との意見交換会

6月11日(火)に村内のスキー場経営者5名の方から、「スノーパル・オグナほかかスキー場におけるリフト新設についての意見書」が提出されました。

内容は、補正予算の議決の前に議員とスキー場経営者との間で意見交換する場を設けることを強く要望するというものでした。このため、6月12日(水)午後4時から、役場2階会議室において「スキー場経営者と議会との意見交換会」を開催しました。出席した議員は11名(3名は所用のため欠席)。スキー場経営者は、ホワイトワールド尾瀬岩鞍(星野さん)・かたしな高原スキー場(代理…入澤さん)・丸沼高原スキー場(代理…釜田さん)・サエラスキーリゾート尾瀬(岩本さん)の4名でした。スノーパーク尾瀬戸倉は所用のため欠席でした。経営者の方々からは、スキー場経営の窮状を訴える一方、片品のスキー場のあり方はどういった形が良いのか、片品全体にとつてどういう形が良いのか、片品村の将来の姿(ビジョン)をしっかりと持って、議論をして頂きたいなどの意見が出されました。



スキー場経営者との意見交換会

第6回臨時会

6月28日、第6回臨時会を開催。
給与の臨時特例に関する条例、物件売買契約について、原案のとおり可決しました。

給与の臨時特例に関する条例

- ・行政職（1）2級以下 △100分の0.9
- ・行政職（1）3級から4級 △100分の1
- ・行政職（1）5級以上 △100分の2.9
- ・行政職（2）1級から3級 △100分の0.9
- ・村 長 △100分の5
- ・副村長、教育長 △100分の2.9
- ・平成25年7月1日～平成26年3月31日

【全員賛成】

物件売買契約

- 除雪機械（凍結防止剤散布車）1台
 - ・契約金額 15,668,929円
 - ・(株)KCMJ 群馬営業所
- 消防ポンプ自動車 1台
 - ・契約金額 17,325,000円
 - ・(株)佐藤工業所

【全員賛成】

第7回臨時会

7月23日、第7回臨時会を開催。
物件売買契約、工事請負契約について、原案のとおり可決しました。

物件売買契約

- スキークロスカントリー競技計測機器・システム購入
 - ・契約金額 18,753,000円
 - ・(有)サンクス

【全員賛成】

工事請負契約

- 片品村営スノーパル・オグナほか第7ペアリフト建設工事
 - ・契約金額 166,425,000円
 - ・日本ケーブル(株)

【全員賛成】

第3回臨時会

4月24日、第3回臨時会を開催。
村道路線の変更、物件売買契約、専決処分
の承認、片品村固定資産評価員の選任
について、原案のとおり可決しました。

村道路線の変更について

第51回全国中学校スキー大会及び第70回国民体育大会冬季スキー大会のクロスカントリー競技にかかる施設整備を図る上で、村道3179号線及び村道3323号線の2路線について、一部形状等が変わることから路線変更を行うもの。

【全員賛成】

物件売買契約

- スノーモービル 5台
 - ・契約金額 7,696,500円
 - ・Tools Box

【全員賛成】

専決処分の承認

- ・片品村国民健康保険税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴うもので、主な改正内容は、後期高齢者医療制度の対象者を含む世帯への基礎課税分の特例期間の延長等、ならびに軽減措置として新たに特定継続世帯を追加するもの。

【全員賛成】

片品村固定資産評価員の選任

- ・氏名 吉野耕治氏
- ・理由 星野純一氏の辞任による

【全員賛成】



第4分団に配備される同類の消防ポンプ自動車

村民の声 (第5回片品村議会定例会を傍聴して)

老人といわれる年齢となり、行動力や世間の視野も狭くなる一方ですので、近所との茶飲み話や立ち話を積極的に行うよう心がけると共に、時々議会傍聴をさせて頂いています。

6月13日の議会では、議案が少なかったが、活発な賛成反対の意見がなされ、興味深く聞きました。特に第37号議案の賛成意見では最初からの経緯を含め、丁寧に説明されたので、一般人の私にも納得のいく説得力のあるものでした。また別の議案では熱心のあまり暫時休憩という珍しい場面もあり、大変参考になりました。

議員の皆様には、片品村の現在と将来のために、指導者としての品格を保ちながら、実りある議会活動を期待致します。



梅澤 貞雄さん (土出)



北澤 重子さん (花咲)

片品村に在住して40年、私共の生活の中で、議会は別世界だと思っていました。したがって議会傍聴は経験がなく無縁のことでした。

入った議場は今まで味わった事のない光景であり、感激かつ身の引き締まる思いに駆られました。村では村長をはじめ議員の方々の日々の努力があり、またこうした議事進行の場があったからこそ、皆に誇れるすばらしい片品村があるのだと改めて感じました。

村の“母体”がこんなにしっかりしているのを見て、これからの片品村が楽しみになったし、村民で良かったと思え身に染みた一日でした。

議会活動日誌

4月

25日 金精道路開通セレモニー

5月

7日 利根沼田地域市町村懇談会
12日 区対抗ソフトボール大会開会式
16日 議員会、議会運営委員会、第4回議会臨時会
21日 第16回議長杯ゲートボール大会
23日 尾瀬山開き、台湾彰化縣小学生訪日歓迎レセプション
24日 議会運営委員会、議会全員協議会
25日 婦人会ミニバレーボール大会
27日 議会運営委員会、全員協議会、片品村商工会通常総会、第35回春の壮年ソフトボールリーグ戦大会
29日 議長杯グラウンドゴルフ大会
30日 片品村観光協会通常総会
31日 議会と区長の懇談会、国県出先機関事業概要説明会

6月

2日 利根沼田消防ポンプ操法競技会
6日 第5回議会定例会(6月議会)開会、補正予算説明会

7日 片品村小中学校教育研究会総会
10日 観光産業・総務文教常任委員会、第70回国民体育大会冬季大会群馬県実行委員会設立総会
12日 武尊山山開き、スキー場経営者との意見交換会
13日 議会運営委員会、第5回議会定例会(6月議会)閉会
20日 白根山山開き
23日 武尊 1,500m フェスティバル
27日 片品村森林組合通常総会
28日 議会運営委員会、第6回議会臨時会
29日 議会運営委員会、議会臨時会

7月

1日 至仏山山開き
2日 少年の主張尾瀬大会
9日 国道120号線整備改良促進期成同盟会総会
11日 先進地視察(下仁田町、上野村)
23日 議会運営委員会、第7回議会臨時会
31日 利根郡町村議員・事務局長研修(～8月1日)

8月

7日 全員協議会



議長杯グランドゴルフ大会
(5月29日)



春の壮年ソフトボールリーグ戦大会
(5月27日)



台湾彰化縣小学生訪日歓迎レセプション
(5月23日)



武尊山山開き
(6月12日)



片品村小中学校教育研究会総会
(6月7日)



利根沼田消防ポンプ操法競技会
(6月2日)



全仏山山開き
(7月1日)



武尊1,500mフェスティバル
(6月23日)



白根山山開き
(6月20日)



椎坂トンネルの視察
(7月9日)



国道120号線期成同盟総会
(7月9日)



少年の主張
(7月2日)

9月議会を傍聴しませんか！ 次回定例会は、9月5日(木)です。一般質問は、開会初日です。
なお、一般質問の質疑応答の全文は、片品村公式ホームページにて閲覧することができます。
URL : <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

編集後記

この第137号の編集を担当したのは、5月の臨時会で新たな委員構成となりました議会広報編集特別委員会です。

4回にわたる全体の編集委員会を含め、取材・編集・校正の積み重ねのうえに発行となりました。

紙面の特徴といえば、一般質問欄が無かったことです。衆目を集める定例会の“華”ともいわれる一般質問ですから、9月定例会では再び目玉としたものです。

なお、議会をよりに関しまして、村民の皆様のご意見・ご感想をお寄せ頂けますなら、これまた大変有り難いものであります。

議会広報編集特別委員会
委員長 戸丸 廣安

発行 片品村議会
責任者 飯塚 美明
編集 議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)